

## 目標達成計画

作成日: 平成 25 年 5 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	開催できない要因は事業所側にあり、運営推進会議の意義を再認識することが望まれる。その上で会議の日程調整の際には職員配置を含め工夫し、開催に向けて努力されることを期待したい。	今後は定期的の運営推進会議を開き、情報や意見の交換を求め、介護サービスに活かしていく。	運営推進会議を定期的2か月に1度に行ない、各委員との交流を深め、助言を求めていく。議事録をきちんと把握したうえでスタッフ間の話し合いを行う。	12ヶ月
2	23	フェイスシートを有効活用し、利用者の思いや意向に関して職員の支援を深める工夫を検討し、実践に繋げることを期待したい。	フェイスシートを有効活用し、利用者の思いや意向に関して職員間が情報を更に共有し、一人ひとりの支援を深める。	一日の一回の申し送りを、一日3回に増やし、各勤務の交代時間において、しっかり申し送りを行ない、情報の共有に努め、更に介護の実践に繋げる。	6ヶ月
3	45	入浴準備が毎日できる体制づくりを検討し、一日の入浴人数を工夫するなど利用者の希望を反映できる工夫を期待したい。	決まった曜日だけでなく、誰もが希望されたときには入浴ができるような支援体制を整える。	入浴機会を毎日設け、利用者一人ひとりの希望に沿いながら、入浴支援を行なう。	6ヶ月
4	52	玄関の等のセンサー設置の必要性や時間帯による設置方法など、様々な角度からの再検討を期待したい。	玄関等のセンサーが違和感を感じることなく、心地よい住居空間を整える。	場所や頻度、数の設定を変えることで、センサーの音が煩わしくないようにする。	6ヶ月
5					ヶ月